料金別納郵便

photo:neo-vol.138 釿の家

「釿の家」完成建物見学会開催。

studio neo- open house : vol.138

このたびの建て替えにあたり
解体をした築130年の古民家を訪れた際、
梁には釿による加工が施されており
その家が長い時間を経て昨今まで存在していたことを
物語っておりました。
130年ものあいだ、そこに生活するご家族の
中心に在ったものを完全に無くすことはできないと考え、
ご近所の方々のコミュニティを形成していた
土間空間などは縮小して残し、
お客様をお迎えしていた大阪格子戸は
建具職人の手により調整を施し、以前と同じ用途へ。
その奥に広がる二間続きの和室は
同じ間口のリビングダイニングになり、
人間の動きが今までとあまり変わらないような
工夫をしております。
更に、天井裏に敷き詰められていた竹は
囲炉裏の煙に燻されいつしか煤竹となり、お客様を
お迎えするにふさわしい素材となりました。
また、建築士であった先代が保管していた54本の桧の柱は
和室やリビングなどの化粧柱、リビング吹抜上部にある
子供たちの遊び場のデッキ材として使用することで
古材と新しい材料とのつなぎ役を担っています。
130年の時間を継承する「釿の家」。
是非会場にてご覧ください。

studio neo- 田中 淳寛

※現在ではほとんど使われなくなった大工道具「釿（ちょうな）」

IKEDA KOUMUTEN co.,ltd.
309 Kamiyokokuracyo,Utsunomiya-shi Tochigi 321-2112 Japan
Phone:028-665-3088